

団体の紹介

『絆』は、3度の立ち退きの末、平成21年4月より新しい拠点で地域のたすけあい活動を行っている団体です。建設した建物の名称を「地域たすけあいセンター絆」とし、誰もが気軽に立ち寄れる場所となるよう、建物にもいろいろな工夫を施しています。中でも全館土足仕様は、車椅子の方でも気軽に入出入りできる等、出入りのしやすさや、安全性を重視した造りになっています。発足以来、困った時はお互いさまの心を大切にする活動は、制度に関わる絆全体の事業にも生かされ、障がいを受け入れる生活介護とデイサービスの高齢者が、交流しながら自分らしい過ごし方を見つけています。また、活動を支えるスタッフも19歳から78歳の方まで、楽しみながらその人らしく生き生きと活動しています。



この団体の歩み



どんなに高齢になっても重い障がいを持って、住み慣れた町、暮らし続けた家でその人らしく暮らせるようにと、平成6年、住民互助型の『東浦くらしのたすけあい絆』を発足し在宅の支援を行いました。平成12年には「宅老所 絆の家」を開所、その後対象者拡大の必要があつて「デイホーム」と改名、その時その時の地域のニーズに応える活動を展開してきました。また、平成13年に法人格を取得してからは、介護保険事業所として、平成15年からは障害福祉サービス事業所として、フォーマル、インフォーマルな地域福祉の活動を行っています。

今までの活動内容と今後の課題

3畳一間をお借りしてスタートした『絆』は、立ち退きの度に拠点が広くなり、それを活かして地域のニーズやご利用者の声に応える形で事業を展開して来ました。平成21年には50年契約で借地契約を結び、「地域たすけあいセンター絆」が完成。これからは、より地域に根ざした事業を考えていきたいと思っています。

その一環として、絆の玄関ホールには、町内の授産施設が作るシフォンケーキや天然酵母のパンなどを日替わりで販売する「東浦セルフセンター」を開設しました。絆の会員の作成するさをり織りの製品や皮細工の販売なども行い、それぞれが楽しみながら、地域の人たちとの交流や、障がいの啓発運動ができたらと願っています。

また、今年9月には初めての試みとして、日本福祉大学の学生さんたちと協働で「第1回きずなまつり～出会いはここから～」を開催しました。地域の方がたくさんいらして下さり、絆を知っていただくことができました。これからも、地域に開かれた「たすけあいの拠点」として、いろいろな催しを通しながら、たすけあいの心を次世代につなげ、絆の理念を伝えていきたいと思っています。



県へのメッセージ



NPOの活動の理解や、NPOに関する制度の整備をお願いしたいです。また、市町村と連携して、より活動しやすい環境づくりを考えていただけたらと願っています。

事業者名	特定非営利活動法人 絆	
所在地	〒470-2102 愛知県知多郡東浦町 大字緒川字北赤坂 3 5 番地の 1	
電話	0562-83-7563	
FAX	0562-83-7518	
HP アドレス	http://www.medias.ne.jp/~npo-kzn/	
メールアドレス	npo-kzn@ma.medias.ne.jp	
代表者	代表理事 山崎 紀恵子	
参加者	<p>計 106 名 中心年代 50 代</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>男性 14% 女性 86%</p> <p>■ 男性 ■ 女性</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ボランティア 8% 非常勤 78% 常勤 14%</p> <p>■ 常勤 ■ 非常勤 □ ボランティア</p> </div> </div>	

(最終校正日時 2010/12/14)